

有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「持続可能な観光政策のあり方に関する調査研究」	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：二神 真美氏 名城大学 外国語学部 国際英語学科 教授 山田 桂一郎氏 JTIC.SWISS代表	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> 観光客増加の影響への対処等を考える前に、どのような地域づくりをするのか、またその地域経営の中で観光をどう位置づけるかについて、地域で共通認識を持つことが重要。それによって、観光のネガティブ・インパクトをどこまで許容するのかなど、地域における観光の受け入れ方が異なる。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な観光を検討するには、まずは地域における観光の位置づけ（観光のポジショニング）を明確にしておく必要があることを記載した。
<ul style="list-style-type: none"> 海外の仕組み等を把握することは参考にはなるが、海外と日本とでは国の制度や社会の仕組み等が異なるため、そのまま日本で海外の仕組みを入れようとしても、フィットしないのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 海外調査は、先行事例として参考にはなるが、あくまで各地域において個別に問題を抽出し、講じる対応策を検討していく必要があることを記載した。
<ul style="list-style-type: none"> 日本で最も足りないものは、持続可能な計画と体制である。連携できる仕組みがあることが理想的。連携できる体制づくりをし、成果を分析・評価し、次のアクションを取る仕組みが大事。地域住民も関与できるような信頼関係が築けるチームができればよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な（観光）計画と体制に関して、広域・地域、地域相互間、官民、異業種間等他との連携の重要性や、課題に応じて柔軟な組織体制を組むことの必要性等について記載した。
<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な観光を検討するうえでは、SDGs (Sustainable Development Goals) についても留意すべき。持続可能な観光は、SDGs の 17 の目標全てに関わってくるものと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な観光の概念を整理するなかで、国連や UNWTO における持続可能な観光の定義とともに、SDGs についても記載した。
<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な観光の推進にキーパーソンは重要かもしれないが、その人がいなくなったらその取り組みは終わってしまう。特定のリーダーに依存するのではなく、小さなリーダーシップをたくさん作っていく取り組みも必要。 	<ul style="list-style-type: none"> キーパーソンの重要性だけでなく、継続的な取り組みとしていくために、一人一人がリーダーシップを取れるよう人材を育成していく必要があることを記載した。